

平成20年度 旭市下水道事業特別会計予算の概要

1. 予算規模

平成20年度当初予算額	808,000千円
平成19年度当初予算額	757,000千円
比 較	51,000千円(6.7%増)

下水道事業は、平成6年2月15日に事業認可を受け、計画工程に沿った事業の進捗により、平成19年3月末までに145.9haの区域を供用開始し、平成20年3月末には、新たに7.8haの区域を供用開始する予定である。

平成20年度は、二地先の幹線管渠工事とその周辺2.6haの面整備工事を行うとともに、平成23年度までの継続事業として、処理場内の高段ポンプ棟建設工事と水処理施設等の増設工事に着手する予定である。

また、終末処理場は平成12年度から運転管理業務を開始し9年目を迎え、汚泥処理施設は平成13年度から運転管理業務を開始、順調に稼働している。

2. 歳 入

- (1) 分担金及び負担金は、38,324千円で、対前年度11,073千円、40.6%の増で計上した。
- (2) 使用料及び手数料は、52,464千円で、対前年度3,851千円、7.9%の増で計上した。
- (3) 国庫支出金は、92,000千円で、対前年度36,500千円、65.8%の増で計上した。
- (4) 繰入金は、393,904千円で、対前年度59,658千円、13.2%の減で計上した。
- (5) 繰越金は、25,000千円で、対前年度13,000千円、108.3%の増で計上した。
- (6) 市債は、205,500千円で、対前年度45,500千円、28.4%の増で計上した。

3. 歳 出

- (1) 人件費は、103,070千円で、対前年度3,640千円、3.7%の増で計上した。
- (2) 一般管理事務費及び下水道普及促進費は、11,246千円で、対前年度2,939千円、20.7%の減で計上した。
- (3) 施設維持管理費は、101,199千円で、対前年度487千円、0.5%の増で計上した。

【主な事業】

・ 運転業務委託	62,990千円
・ 汚泥等運搬処理業務委託	7,220千円
・ 光熱水費	8,846千円

- (4) 下水道建設事業費は、305,994千円で、対前年度63,896千円、26.4%の増で計上した。

【主な事業】

・ 幹線及び面整備等委託 (幹線、面整備、処理場等)	221,970千円
・ 管渠工事(A=2.6ha、二地先)	41,475千円
・ 水道管切廻し工事負担金	15,015千円
・ 道路舗装復旧工事負担金	23,100千円

- (5) その他の支出は、公債費に283,490千円で、予備費に3,000千円を計上した。

平成20年度 旭市下水道事業特別会計予算

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較 増 減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 分 担 金 及 び 負 担 金	38,324	4.7 %	27,251	3.6 %	11,073	40.6 %
2 使 用 料 及 び 手 数 料	52,464	6.5 %	48,613	6.4 %	3,851	7.9 %
3 国 庫 支 出 金	92,000	11.4 %	55,500	7.3 %	36,500	65.8 %
4 財 産 収 入	1	0.0 %	1	0.0 %		
5 繰 入 金	393,904	48.8 %	453,562	59.9 %	△ 59,658	△ 13.2 %
6 繰 越 金	25,000	3.1 %	12,000	1.6 %	13,000	108.3 %
7 諸 収 入	807	0.1 %	73	0.0 %	734	1005.5 %
8 市 債	205,500	25.4 %	160,000	21.2 %	45,500	28.4 %
合 計	808,000	100.0 %	757,000	100.0 %	51,000	6.7 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較 増 減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 総 務 費	81,667	10.1 %	81,806	10.8 %	△ 139	△ 0.2 %
2 事 業 費	439,843	54.4 %	374,620	49.5 %	65,223	17.4 %
3 公 債 費	283,490	35.1 %	297,574	39.3 %	△ 14,084	△ 4.7 %
4 予 備 費	3,000	0.4 %	3,000	0.4 %		
合 計	808,000	100.0 %	757,000	100.0 %	51,000	6.7 %